

## 5 学生の受け入れ

### 進捗状況報告

・言語文化学プログラムのカリキュラム改革に連動して、2009年の度前期課程入試要項を改正した。即ち言語文化学（フランス語）・言語文化学（ドイツ語）プログラムを志望する受験生はそれぞれフランス語、ドイツ語により筆記試験を受験しなければいけない。

・2009年度の後期課程入試要項を改正し、4つの出題領域ごとに指導可能な論述言語を指定した。日本語教育学領域では日本語による論述に限定したので、日本人学生については別途英語か中国語の外国語能力試験を課した。

・2007年度から日本語教育学プログラム志望の受験生にアピールするため、アルク雑誌『月刊日本語』1月号に日本語教育学プログラム入試日程の広告を掲載するようにした。

・2008年度入学者数は、前期課程25人（定員30）、後期課程7人（定員3）であった。

### 学内第三者評価

進捗状況報告では、事実の報告のみがなされているが、入学者数とその構成について施策がどう結果に結びついているのか検証・自己評価することが望ましい。

なお、学外委員からは以下の意見があった。  
社会人学生の多さなど、ユニークな学生の確保に取り組んでいる点が認められる。